

## 「ふるさと発見」要項

「ネットミュージアム 兵庫文学館」に入館して、私たちが住む淡路島が多くの作品に描かれ、古代の人々にとってもすばらしい地であったことがわかりましたか？ 私たちが住む淡路島は古事記や日本書紀に登場する国生み神話の舞台であり、万葉の時代から多くの物語や詩歌などに描かれ、秘められた歴史とロマンの島として親しまれてきたのです。しかし、私たちは案外このことを知らないのではないのでしょうか？ 週末を利用して、ふるさとを発見してみましよう。また、「ネットミュージアム 兵庫文学館」に文学のことを紹介するという気持ちでやってみましよう。優れた作品は「ネットミュージアム 兵庫文学館」に展示されます。

### (1) テーマ

「ネットミュージアム 兵庫文学館」に入館 「常設展示」 「文学マップ」 「淡路」で探す。  
次の四つの観点から探す。

作品から (『万葉集』、 『日本書紀』、 『新古今集』、 『土佐日記』、 『夢喰つ虫』、 『お登勢』、 『菜の花の沖』、 『瀬戸内少年野球団』 など)

歌碑から (松尾芭蕉、 服部嵐雪、 永田青嵐、 岩野泡鳴など)

人物から (高田蝶衣、 川路柳紅、 藤井紫影、 鈴木重胤、 川端千枝、 阿久悠など)

地名から (野島、 松帆、 由良など)

### (2) 内容

・自分の選んだテーマについて、このことを知らない人に紹介する文章を書く。

作品の場合…… 作品名、 発刊年月日、 作者、 作品のあらすじ、 作品の文学的位置 (作品の評価)、 作品中の淡路に関する表現箇所、

表現箇所の作品における役割、 自己の感想

詩歌の場合…… 詩歌、 作者、 時代、 作品の文学的位置 (作品の評価)、 自己の感想

歌碑の場合…… 碑文、 (訳)、 作者、 作者の紹介、 建立者、 建立の時期、 所在地、 土地と作品の関係、 自己の感想

人物の場合…… 人物紹介 (名前、 生年月日、 出生地、 淡路との関係)、 活躍の足跡 (著書、 友人関係、 文学的位置等)、 自己の感想

地名の場合…… 淡路の地名が出てくる作品、 作者、 発刊年月日、 作品の文学的位置 (作品の評価)、 自己の感想

【文章を書く時に注意すること】

自分を取り上げた淡路の文学の内容について、理解に誤りがないかを書く前に点検する。また、内容に関する材料が豊富な場合は精選する必要があるし、不十分な場合はもう一度収集する必要がある。

まとめる前に、相手にわかりやすい文章にするにはどういう構成で書けばよいのかを考える。また、文章だけでは理解しにくいので見出し、写真、絵、地図などの工夫をする。

配布プリントを参考にして、「ふるさと発見」をまとめる。

(地図・写真等を使って見やすくする。 「ネットミュージアム 兵庫文学館」を参考にする。 )

(朝日新聞毎週土曜日連載「ことばの旅人」などを参考にする。 )

(生徒作品の「洲本八狸物語」「淡路のことば」「くにつみ新聞」などを参考にする。 )

### (3) 手順

テーマを決める。(自分の身の回りや興味・関心から)

選んだテーマについて調べる。

・資料収集 資料の整理

構想を立てて、まとめる。(用紙はA4サイズ。授業で配布します。 )

参考にした資料は必ず明記すること…… 図書の場合 書名・著者名・発行所・発行年

インターネット ホームページ

インタビュー 日時・氏名・職業

### (4) 参考

資料からの情報収集

本、 百科事典などで自分の調べたい事柄を知る。

新聞で関係した新聞記事を探す。

地域の人に聞く。(現地取材や電話取材)

インターネットで検索する。(ただし、ホームページに掲載されている内容には色々なものが混在しているので、信頼できるものであるかを吟味する。 )

\* 学校図書館や地域の図書館には、「郷土」や「郷土史」のコーナーの関係した本が必ずあります

\* 質問日 昼休みと放課後 (質問の内容を明確にするには、何か資料がある方がよい。 )

\* 提出日 二月十八日 (金) 但し、一〜三組は相談に応じる。

\* 提出先 古典担当の先生 (提出された作品は古典の成績として評価する。 )

# 「ふるさと発見」ト書き用

1、テーマは？

--

2、題や見出しをどうするの？

--

3、どんな紹介文にしたいか？

--

4、工夫したいことや気をつけたいことは？

--

5、参考にした本やホームページは？

--

6、その他

--